

人のあつまる町に

都計など懸案を実施

西日本一の田園都市、地の利を生かした住みよい町づくりへの大きな構想を旗しに、三代目市長としてこの一月から就任した金堂市長と、園芸の名のある中田市会議員長においでを願って、新しい年を迎えるの「市政放談」を開らき、夢の市政を語ってもらった。

市長 まず知事を迎えて、おみやげ話を強調してみたい。それは合併当時の約束を空手形にしないように再確認をしてみたい。一面いろいろなことでも気を落している知事にはお話をかけ、激励してやりたい。

また、大津、介良の合併問題は市に重大な影響があるので、手遅れであつても一応は話をしてみることがある。いずれにしても、知事と呼ぶことは夢でなく、必ず実行したい。議長 時の流れには従わなければ

夢の放談会

市長 市の庁舎をどう考えるか？議長 議会の特別委員会を建てるといつているのか、どうか、その点について……



市長 金堂 新一郎

市長 待合せ時間が一時間もあつたというそのような不合理はやめてほしい。話し合いができれば、元してもう一つもりだ。

議長 構造改善にしても都計と同じである。ただで掛け声をしても、その計画に十分な裏付けるものがないとついでゆけるものではない。その土地に適した

道は市政の

バロメータ

議長 高知県のうちでも、市の道路行政が一番遅れている。小さなところへ気が付かなかったといえ、それを追いつく。道路は行政のバロメータであり、その土地の発展につながるものだ。

市長 道路と密接な関係のあるものは都市計画だ。都計は二本の国道とハイパスをこれに阿佐線の問題を入れて、はやく写真を作りた。知らないものがいくら想をわたり、会議をしても進歩はない。その道の経験をつんだ専門家に都計案を委嘱したい。

議長 構造改善にしても都計と同じである。ただで掛け声をしても、その計画に十分な裏付けるものがないとついでゆけるものではない。その土地に適した

新春 市長 議長

地場産業の育成と水資源の活用

市長 後免を素通りするようなどこにしないように、人のあつまる町づくりをしたい。どうもごめん、物産指数は高すぎるようだ、高知を一〇〇とすれば、山田は九八、ごめんは二〇二となる、これではわざわざ買ってくるものはない、これは全般をみても安いのにはあつたらん。商工業者とともに考えてゆきたい。

議長 おかしなことに高知空港の地元は高知市となっている、実に馬鹿げた話だ。空港の地元は南国市だということを強調すべきだ。議長 工場誘致は土地があつてもむつかしい。輸送面の改善も平行に考えるべきだ。鮮度の大事な野菜などの輸送については、早さということも大切だ。本州との連絡橋の早期着工に市長も努力してほしい。市長 南国みかんの評判はよく、上方でも東京でも最盛期で取引さされていくとき、そ業と



市長 金堂 新一郎

議長 ともに思い切つてやらなければならぬものだ。し尿処理についてはいろいろの問題があつたが、現在、一日五輪程度舌長し尿処理場で処分している。しかし、それだけでは処分しきれないもので、なんとか結束をつけなければならぬ時期になつていく。

話し合いで強力な市政を

議長 大事なことは重点的に、同じ経費を使つても上すべりでなく、下部へ浸透する事業を真剣に考えてとり組むことが大切である。市の誕生日の祝いとつたものが発足以来まだ一度もやられていない。一度やってみてはどうだろうか。

議長 大事なことは重点的に、同じ経費を使つても上すべりでなく、下部へ浸透する事業を真剣に考えてとり組むことが大切である。市の誕生日の祝いとつたものが発足以来まだ一度もやられていない。一度やってみてはどうだろうか。

議長 大事なことは重点的に、同じ経費を使つても上すべりでなく、下部へ浸透する事業を真剣に考えてとり組むことが大切である。市の誕生日の祝いとつたものが発足以来まだ一度もやられていない。一度やってみてはどうだろうか。

議長 大事なことは重点的に、同じ経費を使つても上すべりでなく、下部へ浸透する事業を真剣に考えてとり組むことが大切である。市の誕生日の祝いとつたものが発足以来まだ一度もやられていない。一度やってみてはどうだろうか。

市長・議長新春夢の放談会

市長 金堂 新一郎

議長 中田 誠